

①学会・研修会・講習会等の名称：神経科学から考える脳卒中リハビリテーション-運動機能回復のための臨床手続-

②日 時：2015 年 2 月 11 日（水・祝）10：00～16：00（受付 9：30～）

③内 容：

脳卒中後の運動機能回復は脳の可塑性によってもたらされるが、近年、神経科学の成果と連携しながらリハビリテーションをデザインして行くニューロリハビリテーション（神経リハビリテーション）の重要性が説かれはじめている。

今回は Sharma と Cohen (Dev Psychobiol 2012) が脳卒中片麻痺の運動機能回復に影響を与える要因として示した 3 つの戦略「運動先行/予測型の活動（運動イメージや運動観察）」「運動発現における皮質脊髄路の発火（運動実行）」「体性感覚フィードバック」を基盤にして、運動機能回復のための脳卒中リハビリテーションをどのように臨床デザインして行くかについて、神経科学の視点からその根拠を示し、そして臨床介入の視点からその実際を述べたい。

④講 師：森岡 周 先生

（畿央大学 健康科学部 理学療法学科 教授・理学療法士）

⑤会 場：名古屋市中企業振興会館 7 階 メインホール
（愛知県名古屋市千種区吹上 2-6-3）

⑥受講費：12,500 円（税込）

⑦定 員：80 名

⑧申込先：合同会社 gene ホームページ（www.gene-llc.jp）よりお願い致します。

⑨締 切：定員になり次第締め切り

⑩主 催（協会または県士会の主催、共催、協賛、後援の有無も記載してください）：
合同会社 g e n e （愛知県士会後援依頼申請中）

その他：